

全体質疑

安心・信頼して働ける鉄道へ

神戸地方本部 須原代議員

●22年前の朝霧く明石間の

触車死亡労災、18年前の福知山線列車事故を含め、今までに発生させてしまった悲惨な事故を教訓として、安全確立に向けた取り組みを永続的に進めていかなければならない。

●昨年10月に、近鉄が設置され、間接・直接部門双方がまだまだ連携が図れていなかった1月24日に、雪害による大規模輸送障害が発生さ



せてしまった。

会社が提言する「お客様から安心・信頼していただける鉄道」を目指すには、「社員が安心・信頼して働ける鉄道」であることが大前提である。

24春闘についても、働きの価値に見合った継続的な賃金の底上げと、モチベーションを向上させるボーナス獲得を要請する。

また、「安全お守り手帳」については、職場の安全衛生委員会等への活用を促していくとともに、具体的な好事例があれば各地方にも共有していただきたい。

●23春闘は、採用競争力の高まりによつて、早々と大幅なベースアップを打ち出す企業が多数あり、本場に難しい春闘の中、ベア満額3,000円・年間臨給4.2箇所を勝ち取つていただき、中央闘争委員会の皆様に感謝申し上げます。

改めて系統毎での長期的な人材育成プランを立て、目指すべき姿を明確にし、早急に目に見える形で議論を進めなければ、雇用の定着化は図れない。



議長団に選出された新保代議員(金沢地本 左)と北村代議員(京都地本 右)

列車を動かすために

誰かの命を奪っている

岡山地方本部 堂屋敷代議員



安全デイスカッションやグループ会社への訪問、協力会社との意見交換などを行っているが、取り組みの比重を大きくする検討も必要では。

●安全の確立について、「二歩間違えば」という事象が後を絶たない。グループ会社や協力会社の方の死亡労災ゼロになつていない状況である。乱暴に言えば、列車を動かすために、誰かの命を奪っていることになっている。

●JR西日本は、民営化以降、約35年かけて返済した約1兆1,000億円もの長期債務は、コロナ禍のたつた2年で約7,000億円増加した。上場4社では2.4兆円増加したとも聞いている。

●JR西日本は、民営化以降、約35年かけて返済した約1兆1,000億円もの長期債務は、コロナ禍のたつた2年で約7,000億円増加した。上場4社では2.4兆円増加したとも聞いている。

JRグループ業界団体設立に

高いハードル

福岡地方本部 大戸代議員



が盛り込まれた。一方で、和歌山の待避不良や京都地区雪害での会社幹部のパワハラがあったと聞く。本部の見解をお聞かせいただきたい。

●一時金及び春闘について、初任給調整手当や社会人採用の基本給大幅アップなどこれから入社してくる社員だけでなく、現職組合員への労苦に報いる・時金こそ必須である。

●安全の確立について、福岡地本管内では今年1月18日、山陽新幹線小倉く博多間作業打合せ中にトラックが転動し協力会社の仲間が1名亡くなる死亡労災が発生させた。事故発生以降、新幹線協議会を通じて会社と議論してきた。

今年度からスタートした「JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027」には、西労組の提言で「心理的安全性」や「3日の変更管理」など

善策である。いまこそ西労組の求心力が問われている。

●4月9日投票が行われた第20回統一地方選挙において、「坪田すむ」を組織内候補として選挙戦を戦ってきた。米村委員長を先頭に凍えるような寒さのなか、多くの組合員に協力いただいた。維新候補との接戦の末、

施設部門へのタブレット導入を！

福知山地方本部 尾崎代議員

●地本ユニオンスクールでは、「安全」の講義において、福知山線列車事故のような事故を起こさせない、決して風化させない決意のもと、語り継ぐ時間を設けている。

「心理的安全」は、何よりも管理者層の言葉一つで大きく変わる。

●安全の確立について、今年度は新たに、JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027がスタートした。今計画の策定においても、我々の主張する提言が多く盛り込まれている。アサーション、



●安全の確立について、今年度は新たに、JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027がスタートした。今計画の策定においても、我々の主張する提言が多く盛り込まれている。アサーション、

施策の拙速感に

納得感追いつかず

米子地方本部 亀山代議員

●安全の確立について、今年度は新たに、JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027がスタートした。今計画の策定においても、我々の主張する提言が多く盛り込まれている。アサーション、

●安全の確立について、今年度は新たに、JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027がスタートした。今計画の策定においても、我々の主張する提言が多く盛り込まれている。アサーション、



●安全の確立について、今年度は新たに、JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027がスタートした。今計画の策定においても、我々の主張する提言が多く盛り込まれている。アサーション、

●安全の確立について、今年度は新たに、JR西日本グループ鉄道安全考動計画2027がスタートした。今計画の策定においても、我々の主張する提言が多く盛り込まれている。アサーション、